



# 地域子育てネットワークだより

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県県民生活部男女青少年課

E-MAIL : [daniioseishounen@pref.hyogo.lg.jp](mailto:daniioseishounen@pref.hyogo.lg.jp) 電話 : (078) 341-7711 (内線 2780)

令和5年12月号



## 写真コンクール受賞作品決定

第16回「家族の日」写真コンクールの受賞作品が決定しました。Instagramも合わせ508作品のご応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。20の受賞作品のうち、最優秀賞と優秀賞4作品をご紹介します。全受賞作品はHPでご紹介しています。受賞された皆様おめでとうございます！

★ HP はこちら [https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk17/ac15\\_000000451.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk17/ac15_000000451.html)



最優秀賞「色褪せぬ愛」

坂元 拓海さん



「優秀賞」

「小さな楽しさ発見！」

佐藤 えりかさん



「優秀賞」

「優秀賞」



「暑い夏の団子たち」

尾上 裕子さん



「我が家の入学記念」

松川 祐香さん

「優秀賞」

「クリアサップ」

大橋 未来さん



## おやこ de クッキング を開催しました！

「お父さん、お子さんと一緒にお料理しましょう！」をテーマに、令和5年11月8日に洲本市立五色中央公民館で「おやこdeクッキング」が開催されました。お父さんもお子さんも、慣れない包丁を上手に



使って、淡路島の郷土料理『ちょぼ汁』や『マセドアンサラダ』を作り、ご飯でおにぎりをにぎって、手づくり料理を楽しみました。



兵庫県いずみ会は、子どもからお年寄りまで幅広い年代を対象に地域に根差した食育活動を実践しているボランティア団体です。家族で一緒に食べる共食の大切さを伝え、食を通じた健康づくりを提案しています。

## 子育て応援ネットの活動紹介



声かけ・見守り活動などで子育て家庭を応援する「子育て応援ネット」の各地の取り組みを紹介します



「D-ラーニング」ってご存知でしょうか？

Dとは、**ダイバーシティつまり多様性の意味**です。

西区内の小学生に、**学校では学習しないような、多様な経験**をしてもらおうと、西区役所と共に活動しています。

国際感覚を身につけたり、仕事場に出向いたりするプログラムに、広報で募集した子どもたちが参加します。

7月には、神戸市外国語大学「学生教育団体LearnBo（ランボ）」企画のイベントで、**5カ国の言語を楽しく学び**、9月には、グリコピア神戸で**自分だけのオリジナルビスコを作り**、また木工工場で素敵な引き出しのついた**木箱を親子で作りました**。

3月の太山寺でのイベントは、境内を掃除して住職の講和を神妙な表情で聴く子どもたちに会える予定です。

子どもたちが、**ダイバーシティの経験**をすることにより**心豊かに育ててほしい**と、孫を見守るような眼差しでお手伝いしています。



一般社団法人神戸市婦人団体協議会理事  
西区連合婦人会会長 井上 智津子



## まちの子育てひろばの活動紹介



「朝来市和田山子育て学習センター」

朝来市では、**就学前の子育てを応援**するため、子育て学習センターを開設しています。子育ての参考となる学習会や講演会を開き、七夕、運動会・クリスマス会などの**季節行事**を行っています。また、親子が集い自由に遊ぶことができる日があり、**保護者同士のコミュニケーション作り**の場となっています。



10月は、おもちゃの広場&木育ミニ講座・運動会・消防署見学・ひよママクック(料理)と**楽しい活動が盛りだくさん**で、**大勢の参加者**がありました。

11月には、「みんなげんきジム」の皆さんにお越しいただき、生野・和田山・山東・朝来の**4つの学習センター合同の交流会**も開催し、**歌って踊って楽しい交流会**になりました。

子育て学習センターは、「**楽しい子育てを**」をモットーに、これからも活動していきたいと願っています。

子育てインストラクター 谷井 初音

お外遊びで  
とんぐり拾い



## 郷土愛の大切さ

県立こども病院名誉院長 中村 肇

阪神が38年ぶりの日本一になりました。オリックスとの関西対決だったので、例え負けても**地元チームが日本一**、リラックスして観戦できました。地元チームが日本一になるのは、日本チームが世界一になるよりも、もっとうれしい。地元の中学や高校なら、市代表や県代表になるだけで興奮します。

地元の住民同士なら、考え方のブレは少なく、**お互い助け合える**気がします。そこには自然発生的に**郷土愛が生まれます**。私が住んでいる町では、春にはだんじり祭りがあり、いろんな世代の人たちが集まります。**世代間の対話**を通じて、**地域文化の伝承**が行われています。



新型コロナの大流行以来、子どもの**虐待や不登校**などが大きな問題となっています。地元住民の輪の中で、**郷土色に満ちた多様性あるプログラム**を工夫すれば、子どもたちは**もっと楽しい青少年時代を過ごせ**そうです。